

2020年10月1日

各位

株式会社リボルナバイオサイエンス
代表取締役 富士 晃嗣

新貝康司氏の顧問就任に関するお知らせ

株式会社リボルナバイオサイエンス（以下、「当社」および「リボルナ社」）は、この度、新貝康司氏（元日本たばこ産業株式会社 代表取締役副社長）を当社顧問としてお招きいたしましたので、お知らせいたします。

当社は、遺伝性希少疾患に苦しむ患者さんとそのご家族に、生まれ変わったことを実感できる医薬品を届けたい、を理念として掲げ、日々革新的な創薬研究事業を行っております。今回、新貝氏を当社顧問として迎えるにあたり、同氏の企業経営や事業開発における数多くの知見を活かすことで、当社の事業戦略および研究開発事業を益々発展させる予定です。

新貝氏は、次のように述べています。「リボルナバイオサイエンス社が目指している遺伝性希少疾患創薬は、社会に大きな光明をもたらす可能性があります。過去、私は米国スタートアップとの抗 HIV 薬の共同開発で、イノベーションによる社会課題解決を経験したことから、当社の取り組みには大変共感しています。当社の技術力に期待していることはもちろんのこと、富士社長はじめ社員の方々の世のため、人のためにとの強い熱意に感銘し、顧問をお引き受けすることにしました。」

同氏を迎えるにあたり、当社代表取締役である富士晃嗣は、次のように述べています。「当社は、遺伝性希少疾患領域に特化した研究開発型ベンチャー企業で、アンメットメディカルニーズの高い疾患の治療に貢献することを目指しています。新貝氏は、日本たばこ産業株式会社において、米国でバイオ、製薬スタートアップとの多くの共同研究開発提携から、たばこ事業での超大型 M&A まで多岐に亘り、輝かしい功績を残された方です。新貝氏の知見は、当社の成長戦略において更なる発展を遂げるために必要不可欠であり、グローバルでの競争力を高めることが期待できます。同氏の加入を通じて、革新的な医薬品を一日でも早く患者さんに届けられるよう、引き続き医療社会に貢献して参ります。」

新貝康司氏の経歴について

京都大学工学部卒、同大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。1980年、日本専売公社（現・日本たばこ産業株式会社、以下「JT」）に入社。89年、同社ニューヨーク事務所所長代理を経て、翌90年、JT America Inc. 社長に就任。抗 HIV 薬の開発等、米国製薬・バイオベンチャーとの数々の共同研究開発提携案件を発掘、推進。91年から6年間は、米国 NASDAQ 上場バイオ企業 Cell Genesys, Inc. の社外取締役を兼任。96年、JT 本社にて全社経営企画・財務戦略を担当後、取締役執行役員財務責任者（CFO）を経て、2006年、JT International 社副社長に就任。07年、英国ギャラハー社の買収を手掛け、08年からは CFO を兼務し統合を指揮。11年、JT 代表取締役副社長就任。リクルートホールディングス社外取締役を歴任。現在は、18年よりアサヒグループホールディングス、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、19年より第一生命ホールディングスの社外取締役。AI スタートアップのエクサウィザーズ、オープンエイトの社外取締役、ベンチャーキャピタル ANRI の顧問を務めるなど、スタートアップ企業の支援、育成にも注力。

株式会社リボルナバイオサイエンスについて

リボルナ社は、RNA に高い親和性を示す低分子化合物を創出し、RNA 機能の正常化により根本治療効果を示す経口型医薬品の創薬研究を行っております。遺伝性希少疾患に苦しむ患者さんとそのご家族が、生まれ変わったと実感できる新薬を提供することで社会貢献します。本件に関するお問い合わせは、<http://rebornabiosciences.com> または info@rebornabiosciences.com にて承ります。